

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日

2020年2月7日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊丹市立神津小学校	代表者名	校長 西尾 隆
担当者部署	管理職	連絡先電話番号	072-782-2021
担当者役職		担当者氏名	
住所	664-0842 兵庫県伊丹市森本1-8-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	坪田 知己
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今までの2000名を超える文章講座受講生から得られた知見を濃厚に取り入れた書き方講習会であったため「大変よい」という評価にさせてもらった。使用したテキストが要領よくまとまっており、小学生に理解しやすいものであった。 また、講師の父親が元特攻隊であり、自分の実体験を踏まえて戦争に対する考え方を述べたことも、聴き書きをするうえで、かなり児童のモチベーションがアップした。 授業時間内での実施であったが、限られた時間内で最高の授業をしてもらえた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月6日	11時40分	12時25分		45
3-2. 派遣場所	会場名	伊丹市立神津小学校		最寄駅	JR伊丹駅
	所在地	兵庫県伊丹市森本1-8-1			
	最寄駅からの交通手段	伊丹市営バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	伊丹市立神津小学校5年生・6年生、教員、スタッフ	84 人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	大阪教育大付属池田小学校の事件以来、学校の門には電子錠が施錠され、地域の方が自由に学校に出入りすることが難しくなっている。また、地域での触れ合いについても不用意に小学生に声をかけると「不信事案」として連絡されてしまい、コミュニケーションが豊かとはいえないのが現状である。 対話が少なくなることで、神津小のような1学年1クラスの小規模校では、国語力の低下という問題点がより明確に出てしまっていた。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	地域に住まわれているシニアの方々の生き様を知ることで、シニアの方への尊敬を児童が抱くことが地域愛を育てる原点となるのではないだろうか。また、尊厳をもって生きている姿は、児童にとっても自律するために必要なことである。 聴き書きが地域の人と人をつなげ、「ふかふかの畑」のように、種をまいたらすくすくと育つ地域とすることを願っていると同時に、子どもたちの相手を思いやる気持ちなど「共感力」を高めたい。
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	今回の文章講座では、文章の技術的なものも多くあったが、相手と対峙するなかでみえてくることを書き留めるというポイントを得た。難しい内容にも思えるが、小学生はしっかりと受け止めていた。 ポイントを列挙すると、 <ul style="list-style-type: none">一番面白いとおもったことに集中する聴き書きでも「だそうです」としない名数確認(名前・生年月日など)
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講師の父親の話から、講師の人生を少し窺い知ることができた。 人の人生に踏み込むことがどのような意味を持つのか、少し理解できたように思われる。 また、文章をどのように書いたら良いのか具体的にわかり、新聞記事が主張したい文章から書かれているという構造をつかむことができた。起承転結ではなく、まず結論から書くということは、児童にとってかなりインパクトの強いアドバイスであった。 また、児童がしっかりとメモを取りながら聞いたことも、外部からの講師から話を聞くという点で、新しいことに茶連するモチベーションがアップした。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	実際の聴き書きは2回目での実施である。 文章講座と言いつつも、どのように書くのかということが話のみであったことが、時間的制約があるという大きな壁に阻まれてしまったことが残念。 この文章の書き方までご指導いただければ、聴き書きでのインタビューが違ってくるように思う。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施しておりません。45分という時間制限の為です。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月7日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊丹市立神津小学校	代表者名	校長 西尾 隆
担当者部署	管理職	連絡先電話番号	072-782-2021
担当者役職	校長	担当者氏名	西尾 隆
住所	664-0842 兵庫県伊丹市森本1-8-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	坪田 知己
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	聴き書きに臨むポイント講習はもちろん、書いた文章を全員一人ひとり添削していただいた。このように、個人の良さを引出す添削を行うことが、児童の意欲を引き出すことにつながった。今回小学校の教育課程内での実施であったため、5年生と6年生全員が参加している。そのすべて(71本)の添削を行うことは、相当大変なことであったと思われる。シニアと児童が1対1で聴き書きをおこない、話し手の人生に自分だけが関与していることを、全員の添削で支えていただいたことが、一番評価したいところである。
アドバイザーへの要望事項	ひとり一人にコメントをもらえたことは、とても感謝しています。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月20日	10時50分	12時25分		95
3-2. 派遣場所	会場名	伊丹市立神津小学校		最寄駅	JR伊丹駅
	所在地	兵庫県伊丹市森本1-8-1			
	最寄駅からの交通手段	伊丹市営バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	伊丹市立神津小学校5年生・6年生	145人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	シニア世代と小学校5年生・6年生が、対話する中から、地域における暮らしの変化を知ることが課題であった。 テーマは、「昔の正月、今の正月 ～年越しを語りあおう～」である。これを基に話を広げてシニアの方々の生き方を語ってもらう中で、子どもたちがシニアの方々が生きてこられた人生を知る。また、その過程で地域の課題を知ることが課題である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	講師から、聴き書きのポイントを再度押さえてもらい、児童はシニアの人生を聴きとろうとする姿勢が出来た。 シニアの方々は自分の孫にはなかなか話せないことでも、真剣に聴きとろうとしている小学生を前にすると、自分の人生を赤裸々に語っていただいた。 このようにシニアの方々の記憶が深く再生されるきっかけとなる機会を得たことは、シニアの方にも、それを聞いた小学生にも共に価値あるものとなった。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	聴き書きに入る前に、相手から話を聞くポイントを再度押さえてもらった。 児童が作成した聴き書きを全員分添削してもらった。(これは当日ではなく3回目までの間で実施)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	聴き書き当日に、シニアの方からのお話を聞き、書き留めることができるようになった。 児童のなかには、聴き手が興味を持った話題について深掘りしていく質問が出来ていた。 話し手であるシニアの方々が、生き生きとして話をされており、時間が来た時にまだまだ話を続けたいという声があがっていた。このモチベーションが地域での会話につながるのではないだろうか。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 児童が作成した聴き書き71本。 関係性が出来たシニアとの繋がり。地域で再開したときには、挨拶や話をしたいという声あり。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回は、小学校のある神津地区に隣接する地区からシニアが66名来ていただいたが、地域でのコミュニケーションが豊かになりそうという予測でしかない。これからの深まりに期待したい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していないので。 理由は45分間の授業時間の制限があったため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年2月7日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊丹市立神津小学校	代表者名	校長 西尾 隆
担当者部署	管理職	連絡先電話番号	072-782-2021
担当者役職	校長	担当者氏名	西尾 隆
住所	664-0842 兵庫県伊丹市森本1-8-1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	坪田 知己
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	児童が聴き書きをしたものを添削し、それを冊子にしてお渡しをすると同時に、どのように文章を直すと書き手の意志が伝わるのか事例紹介したことが素晴らしかった。 5年生と6年生、学年2名の実例をあげて説明、その説明を元にシニアと児童が、文章を推敲することについて、対話をおこなった。 児童の文章の良さを見出す中で、シニアが語った内容について補足をしており、さらに関係性が深まった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月24日	13時35分	15時15分		100
3-2. 派遣場所	会場名	伊丹市立神津小学校		最寄駅	JR伊丹駅
	所在地	兵庫県伊丹市森本1-8-1			
	最寄駅からの交通手段	伊丹市営バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	伊丹市立神津小学校5年生・6年生	145人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	児童とシニアの関係性を深めることが課題である。 児童からシニアに対して年賀状が送られたことで、シニアとの関係性がスムーズであった。イベント後の地域でのつながりを深めたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	聴き書きを推敲することを、シニアと児童と一緒に学んで、相手の理解を深めようとする姿勢が生まれたように思われる。 児童が自分の書いた文章を読み上げることで、シニアに読み聞かせをおこなった。シニアにとって子どもから読み聞かせをしてもらうことが、ある意味驚きであり、関係性を深めることにつながっている。 講師からの文章を推敲するポイントが要領よく伝えられたことが、短時間の授業時間の中で効果的に進めることを可能にしていた。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	各学年2本の添削して効果的な具体例をもとに説明を行った。 一番のポイントは、自分の言いたいことを表題として言葉にすること。また、文頭に主張したいことを述べることに、わかりやすく説明してもらった。 このプロジェクトに多様であり多くの人が関与していることについて説明していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	相手を理解するという点について、シニアの人生と、このプロジェクトに共感をもって理解が進んだ。 シニアの方は、年賀状を受け取ったことによって、子どもたちを身近に感じたようで、会ってすぐにコミュニケーションが自然に始まっていた。この関係が、今回のプロジェクトが終了した後も、継続して深まっていきそうだと期待が持てた。 児童は、冊子とは別に、シニアと2人で写っている写真と聴き書きを張り付けたものを用意しており、シニアは宝物だと感じている。地域でのつながりをスタートさせることが出来たのではないだろうか。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	聴き書きの冊子(5年生版、6年生版) シニアと児童のつながり シニア同士の地区を超えたつながり	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回の取り組みで、つながりが深まるきっかけを得ることが出来た。 それが具体的に次なるものを生み出すのかどうかは、今後のことである。 参加者からは期待できるモチベーションは感じることが出来た。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	事業内容として、かなり負荷が高いため、内容の適正化について次年度検討していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

